

倫理

使用教科書 [倫理(701) 東京書籍] 履修区分 [選択] 単位 [2 単位]

学習の到達目標	(1) 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して、論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。 (3) 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。
---------	--

レポート No	教科書ページ	レッスン	評価の3観点			学習のポイント
			知識・技能 A	思考・判断・表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C	
No.1	P8～P42	第1編 現代に生きる自己の課題と人間としての在り方生き方 1 章 人間の心のあり方 2 章 ささまざまな人生観・倫理観・世界観 I 1 節 哲学すること 2 節 ギリシャの思想	・人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて理解し、他者と共によりよく生きる人間のあり方について、適切な知識を習得している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 ・人間の特質や「考えること」の意義、青年期の位置づけや特徴、現代社会におけるその特質について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 ・認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて理解し、他者と共によりよく生きる人間のあり方について、適切な知識を習得している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて多面的・多角的に考察し、他者と共によりよく生きる人間のあり方について、思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 ・人間の特質や「考えること」の意義、青年期の位置づけや特徴、現代社会におけるその特質について多面的・多角的に考察し、自己のあり方について他者とかかわりの中で思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 ・認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて多面的・多角的に考察し、他者と共によりよく生きる人間のあり方について、思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・人間の特質や青年期の課題、認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて自分自身に関連づけて捉え、他者と共によりよく生きるあり方を主体的に探究している。 ・人間の特質や「考えること」の意義、青年期の位置づけや特徴、現代社会におけるその特質について自分自身に関連づけて捉え、他者と共によりよく生きるあり方を主体的に探究している。 ・認知、感情と個性、発達という人間の心の働きについて自分自身に関連づけて捉え、他者と共によりよく生きるあり方について主体的に探究している。	人間とは何か、人間の心の働きについて正しく理解することができる。古代ギリシャ思想について理解し、活用することができる。
No.2	P43～P81	3 節 宗教と社会 4 節 キリスト教 5 節 イスラム 6 節 仏教 7 節 中国の思想 8 節 芸術	・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、キリスト教における人生観・倫理観・世界観について理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、キリスト教における人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察し、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したこと	・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、人生における宗教の意義や、宗教が人間や社会に与えた影響について、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方の考察に関連付けて主体的に探究している。 ・幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、キリスト教における人生観・倫理観・世界観を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	宗教とは何か、宗教がどのように生まれ、社会に影響を与えたかについて正しく理解することができる。芸術について理解し、活用することができる。

No.3	P82～P120	3章 さまざまな人生観・倫理観・世界観Ⅱ 1節 近代と人間尊重の精神 2節 近代思想の展開 3節 人格の尊厳と人倫の思想 4節 社会変革の思想 5節 理性への疑念	・幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた西洋近現代の諸思想について理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 ・西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景とともに理解している。 ・幸福、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想の特徴について理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた西洋近現代の諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 ・西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察している。 ・幸福、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。	・幸福、愛、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた西洋近現代の諸思想を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界について主体的に探究している。 ・西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景をふまえて主体的に探究している。 ・幸福、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えたルネサンスや宗教改革、近代科学の諸思想を手がかりに、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について主体的に探究している。	近代の人間尊重の精神がどのように生まれ社会に影響を与えたかについて正しく理解することができる。社会変革の思想、理性への疑念について理解し、活用することができる。
No.4	P121～P156	6節 人間観・言語観の問いなおし 7節 他者・自然とのかわり 4章 国際社会に生きる日本人としての自覚 1節 日本人の精神風土	・古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、日本の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手がかりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己とのかわりにおいて理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 ・日本人の伝統的な自然観、宗教観、倫理観の特質について、自己とのかわりにおいて理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想を手がかりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 ・日本人の伝統的な自然観、宗教観、倫理観の特質について、多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。	・日本人の伝統的な自然観、宗教観、倫理観の特質について、自己とのかわりにおいて主体的に探究している。	人間観・言語観の問い直し、他者・自然とのかわり、日本人の精神風土について理解し、判断することができる。
No.5	P157～P198	2節 仏教と日本人の思想形成 3節 儒教と日本人の思想形成 4節 国学の思想 5節 庶民の思想 6節 西洋思想と日本人の近代化	・日本の古代史・中世史に関する基本的な理解にもとづき、古来の自然や神に対する信仰との共存に着目して、さまざまな先哲の思想を手がかりとして、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、自己とのかわりにおいて理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 ・日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、さまざまな先哲の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら、自己とのかわりにおいて理解している。 ・教科書記載の資料やコラム及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・古来の自然や神に対する信仰との共存に着目して、さまざまな先哲の思想を手がかりとして、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 ・日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、さまざまな先哲の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。	・日本の古代史・中世史に関する基本的な理解にもとづき、古来の自然や神に対する信仰との共存に着目して、さまざまな先哲の思想を手がかりとして、仏教思想は日本人の思想形成にどのような影響を与えたのか、主体的に探究している。 ・日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、日本人の思想形成に儒教が与えた影響について、さまざまな先哲の思想を手がかりとして、中国の儒教や日本の仏教の思想傾向と比較しながら主体的に探究している。 ・日本の近世史に関する基本的な理解にもとづき、国学の思想がその後の日本に及ぼした影響について、代表的な国学者の思想を手がかりとして、儒教や仏教の思想傾向と比較しながら主体的に探究している。	仏教と日本人の思想形成、儒教と日本人の思想形成、国学の思想、庶民の思想、西洋思想と日本人の近代化について理解し、判断することができる。

No.6	P199～P235	7 節 国際社会に生きる日本人の自覚 第2編 現代の諸課題と倫理	・高度経済成長やそれに続く低迷する日本経済にあって、改めて浮かび上がった日本人の在り方生き方の問題点や、グローバル化が進む現代において自覚的に受けつぐべきものや、今後問いなおすべき課題について、自己とのかかわりにおいて理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。 ・第1編で学習した事項を基盤として、生命倫理に関する概念や現代の諸問題に着目して、「生きること」の意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断するために必要な事項を理解している。 ・教科書記載の資料及びその他の資料から、必要な情報を効果的に調べまとめている。	・高度経済成長やそれに続く低迷する日本経済にあって、改めて浮かび上がった日本人の在り方生き方の問題点や、グローバル化が進む現代において自覚的に受けつぐべきものや、今後問いなおすべき課題について、多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。 ・理解したこと、考察したことなどを適切な方法で表現している。 ・第1編で学習した事項を基盤として、生命倫理に関する概念や現代の諸問題に着目して、「生きること」の意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。 ・理解したこと、考察したことなどを、論拠を明確にして表現している。	・第4章で学んだ伝統的な日本人の心情や考え方をふり返ったり、日本の戦後思想の動向を手がかりにしたりしながら、現代の国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について、自己とのかかわりにおいて主体的に探究している。 ・教科書記載の探究課題や、自ら設定した「生命」に関する探究課題について、他者との対話をふまえて自らの探究をふり返り調整しながら、解決に向けて主体的に取り組んでいる。 ・教科書記載の探究課題や、自ら設定した「自然」や「環境問題」に関する探究課題について、他者との対話をふまえて自らの探究をふり返り調整しながら、解決に向けて主体的に取り組んでいる。	国際社会に生きる日本人の自覚、生命、自然、科学技術、福祉、文化と宗教、戦争と平和について理解し、判断することができる。
3観点			育むべき能力			
A 知識・技能			○社会的事象等について（～は～であると）理解し、その知識を身に付けている。 ○社会的事象等を調べまとめる技能（社会的事象等に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能）を身に付けている。			
B 思考・判断・表現			○社会的な見方・考え方をを用いて、社会的事象等を見出し、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察している。 ○社会的な見方・考え方をを用いて、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想している。 ○考察したことや構想したことについて、説明したり議論したりしている。			
C 主体的に学習に取り組む態度			○学習対象（社会的事象等）について主体的に調べ分かつて課題を意欲的に追究している。 ○よりよい社会を考え学んだことを生かそうとしている。			

政治・経済

使用教科書 [政治・経済(701) 東京書籍] 履修区分 [選択] 単位 [2単位]

学習の到達目標	(1) 社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。 (3) よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、我が国及び国際社会において国家及び社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。
---------	---

レポート No	教科書ページ	レッスン	評価の3観点			学習のポイント
			知識・技能 A	思考・判断・表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C	
No.1	P4～P47	第1編 現代日本の政治と経済 第1章 現代日本の政治 1節 民主政治の基本原理 2節 日本国憲法の基本原理	・政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代日本の政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 ・民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 ・明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目し、日本国憲法と現代政治のあり方との関連および望ましい政治のあり方ならびに主権者としての政治参加のあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○民主政治の基本原則について理解し、現代社会における民主政治の価値や必要性を評価できる。 ○日本国憲法と大日本帝国憲法を比較し、日本国憲法の基本的性格を理解し、いかに民主的であるかを評価することができる。 ○自衛隊を憲法9条や日米安保と関連付けて考察し、日本の平和主義を国際情勢の中で理解できる。 ○日本国憲法が保障する基本的人権について理解し、主な判例を条文と比較し、考察することができる。 ○時代により憲法や法律の改正が争点となることを理解し、具体的な事例について自分なりに考察できる。
No.2	P48～P79	3節 日本の政治機構 4節 現代政治の特質と課題	・国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 ・政党政治と利益集団、選挙の意義としくみ、選挙をめぐる諸問題、世論形成におけるマスメディアの役割について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し、表現している。 ・主権者である自分はどうに政治参加をしていけばよいか、具体的な政策を通して多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○立法のしくみと重要性を理解し、衆議院の優越の意義を評価できる。 ○行政のしくみを理解し、議院内閣制の意義を正しく評価できる。 ○地方自治のしくみと国政との相違点を理解し、直接請求権の意義を評価できる。 ○現代政治が抱える問題点を把握し、課題解決のあり方を考察することができる。 ○主権者としての自覚を深め、国民の司法参加のあり方や選挙制度の問題点を具体的な用語を用いて説明できる。
No.3	P80～P118	第2章 現代日本の経済 1節 現代の資本主義経済 2節 現代経済のしくみ	・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民所得と経済成長、物価と景気変動、財政のしくみと役割および租税などの意義、金融のしくみと機能について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 ・経済活動の特徴、資本主義経済の成立と変容、社会主義経済と新自由主義について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目し、経済活動と福祉の向上との関連ならびに市場経済の機能と限界、持続可能な財政および租税のあり方、金融を通じた経済活動の活性化について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・資本主義経済の特徴に着目し、資本主義経済が今日の世界経済の主流となっただけでなく多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・現代の資本主義経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○資本主義経済の発展と優位性を評価し、現代における課題を把握することができる。 ○現代経済のしくみと企業に求められる役割と責任について、考察することができる。 ○国の経済規模のとらえ方を理解し、経済成長や景気変動による社会への影響について正しく評価できる。 ○現代経済の課題について、主体的に考え、説明できる。

No.4	P119～P155	3節 日本経済の発展と現状 4節 福祉社会と日本経済の課題	・戦後日本経済の発展と、日本経済の現状について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 ・公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか多面的・多角的に考察し、表現している。	・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・現代の日本経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○日本経済の発展と課題を把握することができる。 ○公害と環境保全に必要な制度やしくみについて、正しく評価できる。 ○労働と社会保障についての権利と責務を正しく理解することができる。 ○現代経済の変化や課題について、主体的に考えよう。
No.5	P156～P203	第3章 現代日本の諸課題 第2編 グローバル化する国際社会 第1章 現代の国際政治	・現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切に収集し、読み取り、まとめている。 ・国際社会の変遷、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、軍縮と紛争防止、日本の国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代の国際政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・少子高齢社会における社会保障、地域社会の活性化、多様な働き方・生き方の実現、中小企業の意義と課題、日本財政の健全化、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、国際法の果たす役割および国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとしている。 ・現代の国際政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○現代日本の課題を把握し、どのような解決策が適切か理解できる。 ○国連が抱える課題を把握し、改善の努力を理解できる。 ○近現代の国際秩序の形成過程に関心をもち、日本の国際社会復帰も含め、新たな秩序が形成されてきたことが理解できる。 ○軍縮をはじめとする現代国際政治と日本の諸課題を把握し、それらに対する解決の糸口を考察できる。 ○現代の国際社会及び日本の課題について、主体的に考え、説明できる。
No.6	P204～P254	第2章 現代の国際経済 第3章 国際社会の諸課題	・貿易の現状と意義、為替レートの変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 ・国際社会における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、相互依存関係が深まる国際経済の特質および国際経済において果たすことが求められる日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ・グローバル化にともなう社会変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際的な経済格差の是正、イノベーションの促進と成長市場、民族問題と紛争の解決、持続可能な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	・現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・国際社会における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとし、合意形成や社会参画に向かおうとしている。	○貿易と国際収支のしくみと課題を把握することができる。 ○発展途上国をふくむ戦後国際経済体制のしくみと課題を理解することができる。 ○グローバル化する世界経済の現状と課題及び地球的規模の課題への対処のあり方について理解できる。 ○国際社会が抱える諸課題について、正しく把握し、解決に向け考察できる。 ○グローバル化する国際経済、国際社会について、主体的に考えよう。
3観点			育むべき能力			
A 知識・技能			○社会的事象等について（～は～であると）理解し、その知識を身に付けている。 ○社会的事象等を調べまとめる技能（社会的事象等に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能）を身に付けている。			
B 思考・判断・表現			○社会的な見方・考え方をを用いて、社会的事象等を見出し、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察している。 ○社会的な見方・考え方をを用いて、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想している。 ○考察したことや構想したことについて、説明したり議論したりしている。			
C 主体的に学習に取り組む態度			○学習対象（社会的事象等）について主体的に調べ分かつて課題を意欲的に追究している。 ○よりよい社会を考え学んだことを生かそうとしている。			

公共

使用教科書 [公共(701) 東京書籍] 履修区分 [必修] 単位 [2 単位]

学習の到達目標	① 現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念とともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付ける。 ② 現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。 ③ よりよい社会の実現を視野に，現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や，公共的な空間に生き国民主権をなす公民として，自国を愛し，その平和と繁栄を図ることや，各国が相互に主権を尊重し，各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
---------	--

レポート No	教科書ページ	レッスン	評価の3観点			学習のポイント
			知識・技能 A	思考・判断・表現 B	主体的に学習に取り組む態度 C	
No.1	P7～P35	第1部 「公共」のとびら 第1章 公共的な空間をつくる私たち—社会のなかの自己 第2章 公共的な空間における人間としての在り方生き方—共に生きるための倫理	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	○よりよい社会の実現を視野に，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中，自らの学習を調整しようとしている。	○青年期と自己形成，キャリアについて学習し，私たちが「公共的な空間」をつくりだしていく自立した主体であることを学びます。 ○〈私〉がそれぞれかけがえのない個人とみなされること，他者や社会とさまざまなかかわりを結ぶ存在であること，伝統・文化の影響と向き合いながら価値観を形成する存在であることについて学びます。 ○三大世界宗教について学びます。 ○功利主義と幸福の原理，義務論と公正の原理について学び，生命倫理，環境倫理について考えを深めます。 ○倫理的な観点から物事を選択・判断する際の指針となる基本的な考え方を学びます。
No.2	P36～P83	第3章 公共的な空間における基本的原理—私たちの民主的な社会 第2部 自立した主体として社会に参画する私たち 第1章 民主政治と私たち	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	○よりよい社会の実現を視野に，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中，自らの学習を調整しようとしている。	○他者とともにより望ましい社会を形成していく際の協働の方法や，社会制度をつくる基礎となる考え方について学びます。 ○民主主義，立憲主義，人権保障，日本国憲法について，先人が築き上げてきた細かい条文や内容，それらの根本にある基本的原理について学びます。 ○民主政治，地方自治のしくみと役割について学びます。 ○日本の国会，内閣の仕組みを学ぶとともに，世界の政治体制について学びます。 ○選挙や政党について学びます。 ○防災，投票率の低下について諸外国の取り組みについて理解し，考えを深めます。
No.3	P84～P111	第2章 法の働きと私たち	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	○よりよい社会の実現を視野に，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中，自らの学習を調整しようとしている。	○法は私たちの生活にどのようにかわるのか，法や規範の意義と役割について学びます。 ○法の適用とプロセスについて学びます。 ○現代の市民生活における私法の役割と意義について学びます。 ○消費生活と契約について学びます。 ○司法のしくみや役割，国民の司法参加について学びます。 ○裁判員制度について学びます。
No.4	P112～P145	第3章 経済社会で生きる私たち	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	○よりよい社会の実現を視野に，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中，自らの学習を調整しようとしている。	○企業の経済活動や市場経済のしくみについて学びます。 ○価格決定のメカニズムや，資本主義の歴史と経済思想について学びます。 ○経済の指標や景気変動と物価について学ぶとともに，戦後の日本経済の動きについて学びます。 ○市場経済における金融のしくみと働きについて学びます。 ○財政の働きや課題について学びます。 ○社会保障の考え方や課題について学びます。 ○諸外国のタクシー事業への規制について調べ，考えを深めます。 ○日本の社会起業家やクラウドファンディングについて考えを深めます。 ○諸外国と日本の税の違いについて学びます。
No.5	P146～P173	第4章 私たちの職業生活 第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ1 テーマ2	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解しているとともに，諸資料から，倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して，事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり，合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	○よりよい社会の実現を視野に，公共的な空間に生き国民主権を担う公民として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中，自らの学習を調整しようとしている。	○働くことの意義と職業選択について学びます。 ○これからのキャリア形成の課題について学びます。 ○労働者の権利と労働三法について学びます。 ○現代の雇用・労働問題について学びます。 ○国際社会のルールとしくみについて学びます。 ○日本の平和と安全はどのように守られてきて，どのように変化してきたのかについて学びます。 ○他国の働き方について学びます。 ○国際連合の専門機関が，どのような活動をしているのかについて学びます。

No.6	P174～P212	第5章 国際社会のなかで生きる私たち テーマ3・テーマ4 第3部 持続可能な社会づくりに参画するために	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念や理論について理解していると、ともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したり表現したりしている。	○よりよい社会の実現を視野に、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ○知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う中、自らの学習を調整しようとしている。	○現代の紛争とその影響を把握し、平和な国際社会に向けて日本が果たすべき役割とは何かを学びます。 ○グローバル化する国際経済について学びます。 ○貿易のしくみや国際金融のしくみと動向について学びます。 ○戦後の国際経済の動きについて学びます。 ○今日の国際経済とその諸課題について学びます。 ○SDG sについて学びます。 ○課題解決に向けて、考察、構想し、自らの考えを説明、論述できるようになるためのプロセスについて学びます。
3観点			育むべき能力			
A 知識・技能			○社会的事象等について（～は～であると）理解し、その知識を身に付けている。 ○社会的事象等を調べまとめる技能（社会的事象等に関する情報を収集する・読み取る・まとめる技能）を身に付けている。			
B 思考・判断・表現			○社会的な見方・考え方をを用いて、社会的事象等を見出し、社会的事象等の意味や意義、特色や相互の関連を考察している。 ○社会的な見方・考え方をを用いて、社会に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想している。 ○考察したことや構想したことについて、説明したり議論したりしている。			
C 主体的に学習に取り組む態度			○学習対象（社会的事象等）について主体的に調べ分かつようとして課題を意欲的に追究している。 ○よりよい社会を考え学んだことを生かそうとしている。			